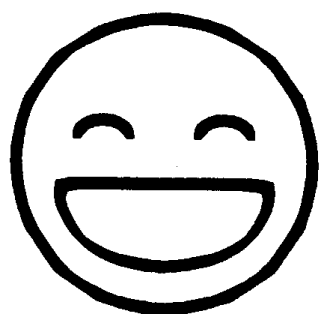


一九九四年八月四日第三種郵便物承認
HSK 毎月一〇回(一、三、五、八、一〇、一五、二〇、二五、三〇、三五、四〇、四五、五〇、五五、六〇、六五、七〇、七五、八〇、八五、九〇、九五、一〇〇)発行

HSK NPO 法人「文福」ニュース



「障」ちゃん



NO.313

冒頭の一言

7月に入り、いよいよ夏本番を迎えます。また暑い日が続きますね、水分補給や休息をしっかりと取りながら、無理をせず過ごしたいものです。

夏になると幼い時に学園で行なわれていた楽しかった夏祭りや、実家で見た花火などを思い出します。

季節ならではの楽しみがある一方で、体力的に大変さを感じる季節でもあります。この夏も一人ひとりが自分らしく、元気に過ごせることを願っています。

暑い夏こそ冷房がきいた部屋で、この障ちゃんニュースをごゆるりとお読みください。

kaokao

—もくじ—

冒頭の一言 … 1 訃報 … 2 5月12日障害者部会報告 … 3
会員募集のお知らせ … 4-5 「ヘルパーになって思うこと」 … 6
季刊誌「まっち 35号」原稿大募集！ … 7 ありがとうコーナー … 8

訃 報

5月23日の夕方、理事長の福田文恵さんが病気のため、65歳でご逝去されました。

福田さんは昨年12月から体調を崩され、入退院を繰り返されていました。

文福の立ち上げ当初から管理者として活躍され、面接やスケジュール調整などを通じて、多くの利用者さん、ヘルパーさん、スタッフと関わってこられました。

また、ザ★カイジョでは、サービスに入るヘルパーさんの心得などを伝える講師も務められました。

障害者部会では、障害者の自立支援に関する相談に応じたり、公共交通機関の調査活動に参加されたりするなど、地域福祉の発展にも尽力されました。

レクリエーション活動では、キャンプなどにも積極的に参加され、多くの方々と交流を深められました。

プライベートでは、THE ALFEE の高見沢俊彦さんの大ファンで、県内外のライブへよく足を運ばれていました。時には最前列で鑑賞されたこともあり、ライブグッズのお菓子を事務所へ持参して、みんなに見せたり分けたりしてくださることもありました。そのときの嬉しそうな表情は、今でも心に残っています。もちろん、坂崎幸之助さんや桜井賢さんも大好きでいらっしゃいました。

最近ではクレーンゲームに夢中になり、お部屋には「ハンギョドン」のぬいぐるみがたくさん並んでいました。獲得した景品をヘルパーさんやスタッフに分けてくださることもあり、その優しさに触れた方も多かったことでしょう。

告別式では、THE ALFEE の「SWEAT & TEARS」が BGM として流れました。

ご家族からは、「身体にハンデを持ちながらも、その生き様には感謝している」というお言葉がありました。そしてご家族が作られたドレスを身にまとい、たくさんのお花と高見沢さんの写真、THE ALFEE のグッズ、そして大好きだったハンギョドンのぬいぐるみに囲まれて旅立たれました。

福田さん、長い間本当にお疲れさまでした。そして、たくさんの温かさで笑顔がありました。

心よりご冥福をお祈り申し上げます。

5 月 12 日障害者部会報告

欠席者・1 名

① 総会について

6 月 20 日(土)に行なう虐待防止研修会(ヘルパー研修)その資料として、障害者スタッフが実際に受けた虐待の体験談や、自分の周りで虐待が行われた事などの原稿を書き上げ障害者部会長まで送る。

このヘルパー研修は派遣部と障害者部会が協力し合い行なう。

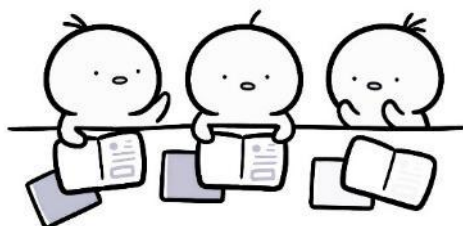
① 障害者部会員を増やすためのリーフレットについて

富山市役所、富山県社会福祉協議会、富山市の社会福祉協議会、自立生活支援センター富山に配ってきたが、新たに持って行く所として 2 ヶ所と前回持って行ったが、無くなっていたので追加で市役所へ持って行く。

② その他

今後、部会で行っていききたいものとして、昨年実施したコンサートも行いたい。という意見が出た。これに向かい考え行動していく。

次回の部会は6月9日(火)14時から



★ NPO法人文福の会員募集 ★

日頃、多大な協力をいただきありがとうございます。

文福では、障害者と健常者が一緒になって、障害者の社会参加を進めることと、障害者の自立生活を支えることを目的に、障害当事者による部会活動、ヘルパー派遣事業、障害者と健常者が一緒に楽しめるレクリエーションなどを行っています。

今後も誰もが平等に社会参加でき、地域で当たり前に関わり合いながら生きていくための活動や事業を行っていきます。文福の活動の趣旨に賛同して是非会員になって、一緒に活動したり支援したりしてくださるよう、よろしくお願いします。

☞ 会員種別

●運営会員 会費:3,000 円

趣旨に賛同し、活動への参加や支援・意見を述べることができ、総会の議決権を持つ。

●協力会員 会費:3,000 円

趣旨に賛同し、活動への参加や支援はできるが議決権はない。

●購読会員 会費:1,000 円

活動や趣旨を理解するが、議決権・活動への参加はない。

※全ての会員の皆さんに「障ちゃんニュース」や「まっち」を配送します。

☞ 会員申込 振込用紙を同封します。備考欄に会員種別を印字しましたので、入会する会員にチェックして会費をお振り込み下さい。

★2026年度 会費納入のお願い★

会員の皆さんにはいつもご支援・ご協力ありがとうございます。今年度も会員を継続し年会費を納入して下さいますようよろしくお願いします。

会費は同封した振込用紙に印字してある会員種別に必ずチェックを入れてお振り込みください。

会員の継続には入会金はいりません。会員を変更される場合も、あらためて入会金を支払う必要はありません。

会費の振り込みが確認されました、「障」ちゃんニュースに氏名を掲載します。氏名を掲載されたくない場合や、匿名で希望される場合は、振込用紙・電話・メールでその旨お伝えいただくと助かります。

なお、振込用紙は会員の有無に関わらず同封しています。請求ではありませんので悪しからずご了承ください。



「ヘルパーになって思うこと」

栗島 克幸

皆さんこんにちは。文福スタッフの栗島です。今回は、ヘルパーとして利用者の皆さんと関わる中で、私自身が日々感じていることをお伝えしたいと思います。

障害福祉の仕事に携わるようになってから、私の中で大きく変わったのは“ものの見え方”です。ヘルパーになる前は、利用者の方々がどのように日常を過ごしているのか、正直なところ想像しきれない部分が多くありました。しかし、実際にに関わり、同じ時間を過ごす中で、こちらが気づけていなかった工夫や、日々の生活の中で抱えている思いに触れる機会が増えていきました。

たとえば、動きのひとつをとっても、私たちが何気なく行っている動作が、利用者にとっては大きな負担や不安につながる場合があります。逆に、こちらが「大変だろう」と思っていたことが、利用者にとっては慣れた動きで、むしろ生活を営むうえで欠かせない大切なプロセスである場合もあります。そうした“違い”に気づくたびに、支援とは一方的に行うものではなく、相手の視点を理解しながら一緒につくっていくものだ実感します。

ヘルパーという仕事は、支援する側でありながら、同時に多くを学ばせてもらう立場でもあります。利用者の方々の言葉や行動から得られる気づきは多く、その積み重ねが私自身の成長につながっていると感じています。これからも、現場での経験を大切にしながら、利用者の視点に寄り添った支援を続けていきたいと思っています。

季刊誌「まっち 35 号」原稿大募集！

季刊誌「まっち」個人史・社会問題・そして人と人を結ぶことを目指し発行しています。

その「まっち」34 号テーマ『出逢い』を発行する事ができました。これもひとえに皆さんが原稿をお寄せ下さったおかげだと思っています。この場をおかりしてお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

次号のテーマは『涙』です。

人は悲しい時、大切な人との別れの時に流す涙、悔しい時、可笑しすぎた時、嬉しい時、感動した時、あるいは推しの歌を聴いて涙する事もあります。そう！色々な『涙』がありますよね。

そんな貴方の頬を伝った『涙』のひとつでもこの【まっち】にぜひ寄せてください。

皆さんからのステキな原稿を編集者一同お待ちしております。

原稿締め切り 6 月末日 発行 7 月末予定

もちろん、他のテーマや詩や俳句、川柳、短歌、イラスト(絵)等の原稿もお待ちしております。

メールでの投稿：macchitti@gmail.com

FAX での投稿：(076)460-0390

郵便での投稿：〒930-0138 富山市呉羽町 7276-3

NPO 法人 文福『まっち』編集係

までお送り下さい。よろしくお願い致します。



尚、『まっち』を一読されてみたい方、文福事務所に常時置いてあります。上記に記した連絡先にご連絡ください。

『まっち』編集者一同

ありがとうコーナー

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

今後もよろしくお願いします。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆



このニュースが発行される頃には、全国的に気温の高い日が続いていることでしょう。

昔は「熱射病」と呼ばれていましたが、今では「熱中症」という言葉が一般的になりました。近年は猛暑日も増え、暑さ対策が欠かせませんね。

動物と一緒に暮らしているご家庭では、エアコンを24時間稼働させているという話もよく耳にします。

冷房はもちろん、熱中症対策の飲み物や塩分補給タブレット、持ち運びできる扇風機など、さまざまなアイテムを活用しながら暑さをしのぎたいものです。

皆様は、どのようにして暑さをしのいでいますか？

私自身は、夏の曲を聴いて気分を上げながら、楽しく過ごせるように心がけています。 (Penko)

発行人:北陸障害者定期刊行物協会 富山市今泉312

編集人:特定非営利活動法人 ^{ぶんぷく}文福

〒930-0138 富山市呉羽町 7276 番地 3

e-mail: bunpuku@ab.auone-net.jp

HP: <https://bunpuku.org/>

TEL/FAX(076)460-0390

定 価 50円

※文福の会員の方は、会費に購読料を含んでいます。